



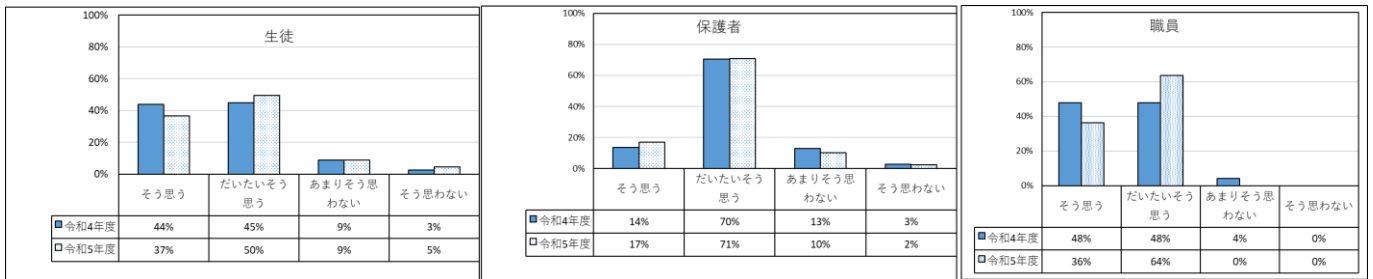
情操高く知は深く

学校評価アンケートの結果と今後の課題について

日頃より学校諸活動につきまして、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。また、ご多忙にもかかわらず学校評価アンケートへのご協力を頂きましてありがとうございました。結果がまとまりましたので、紙面にてお知らせします。アンケート結果を踏まえ、3学期に取り組んでいるものもあります。また、来年度の取り組みの方向は、太字で示してあります。

※割合の数値については、小数第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もあります。

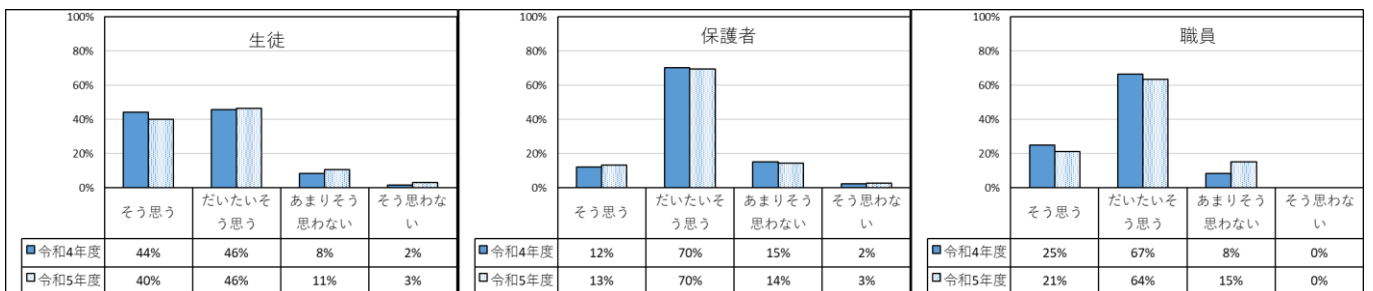
1 「豊かな個性を育むあたたかな関係」を築ける生徒を目指して教育活動を行っている。



【考察】

「そう思う」、「だいたいそう思う」の肯定的な回答が高い割合を占めています。生徒については大きな変動は見られませんでした。保護者、職員ともに上がる結果となっています。これは、日々の生活を営んでいく中で様々なトラブルはあるものの、それを皆で乗り越え良好な関係を築けていると考えることができます。また、今年度から始まったマイプロジェクトとして、自分が取り組んでいることを皆で認めていくこと、また、生徒の活躍を多くの方に知っていただくためにホームページで発信していくことを今後も継続し、より多くの生徒が安心してワクワクしながら日々の学校生活を送っていけるよう努めていきます。

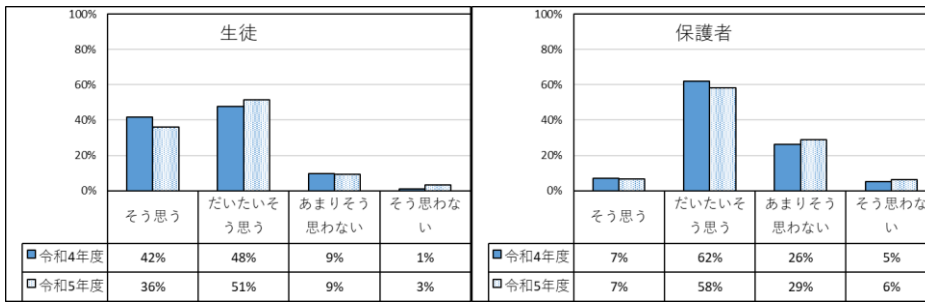
2 主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくりと適正な評価をしている。



【考察】

「そう思う」、「だいたいそう思う」の肯定的な回答の割合を見ると、生徒、保護者は昨年とほぼ同様の結果となりました。各種アンケートの結果や生徒の声から、生徒は教師からの一方通行の授業ではなく、仲間と相談しながら考え合える授業を望んでいることがわかり、本校では「自分自身や仲間との対話ができる授業」を大切に授業づくりをしています。生徒の個人で考える時間、仲間と一緒に考える時間の両方を確保することが定着してきた結果であると考えます。また、ICTを活用し、仲間の考えが容易に共有でき、多様な考えにふれながら学習を進める授業展開も定着してきていることもこのような結果につながっていると考えます。今後も生徒のニーズに合った授業づくりに取り組みます。

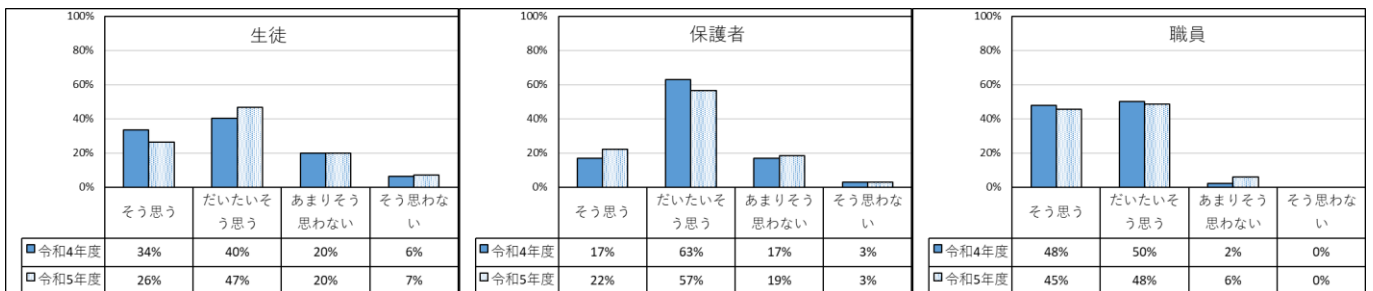
3 授業はわかりやすく、充実したものになっている。



【考察】

「そう思う」、「だいたいそう思う」の肯定的な回答の割合を見ると、生徒、保護者共に昨年と比べわずかながら下がる結果でした。今年度の本校における全国学力・学習状況調査の生徒質問紙の結果では実施した全ての教科(国・数・英)で、「授業の内容はよく分かりますか」の質問に対し肯定的な回答をした割合は、全国・県を大きく上回る結果となりました。2月中に生徒に実施する「教科アンケート」の結果も踏まえながら、より充実した授業になるように授業改善に努めると同時に、参観日やホームページで授業の様子を保護者の皆様にお伝えしていきます。あわせて、今年度テスト前にフリーラーニング(学習相談日)を設けて、教科担任やボランティアに分からないことを聞く機会を設けたように、授業後の学習環境についてもニーズに沿って整えていきます。

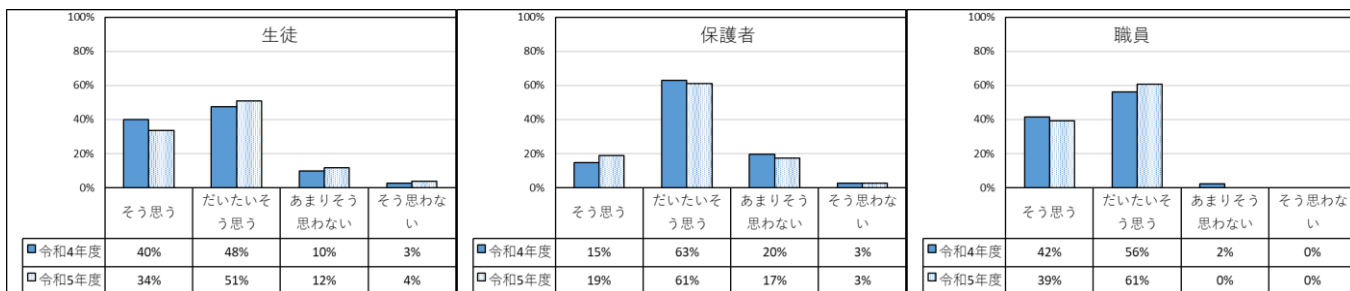
4 (生徒と教師とのかかわり) 相談しやすい人間関係づくりに努めている。



【考察】

「そう思う」、「だいたいそう思う」の肯定的な回答の割合を見ると、保護者は昨年と同様、生徒・職員ではわずかに下がる結果となりました。今年度の全国学力・学習状況調査生徒質問紙の「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の本校生徒の肯定的な回答も、全国・県に比べて低い結果でした。このことを受け、職員間で考える時間を設け、生徒の気持ちを再認識すると同時に、「職員にゆとりがなく忙しそうにしている」ことも生徒が相談しづらい原因として考えられるのではないかと考えました。生徒が相談できる時間を確保したり、教職員がゆとりを持って生徒と接したりできるように来年度の日課の検討を進め、生徒が相談しやすい雰囲気や環境を整えていきます。今後も学級担任だけでなく、教科担任や学年職員など、多くの職員で生徒とかかわったり、学級担任と相談する時間を設けたり、生活記録で学級担任と相談できるようにしたりして、相談しやすい環境を整えていきます。

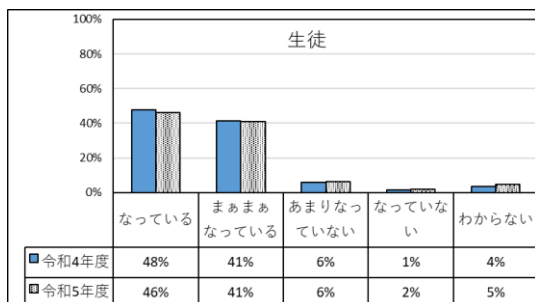
5 教職員は、自分のよさや可能性を伸ばそうとしている。



【考察】

「そう思う」、「だいたいそう思う」の肯定的な回答の割合を見ると、生徒はわずかに下がりましたが、保護者・職員は上がる結果となりました。生徒については、ICTの活用により授業場面で今まで見えづらかった一人一人の考えが共有できるようになったことを生かしたり、前述したような**生徒と対話する機会の確保を進めたりしながら、一人一人の良さを伝えていけるよう努めます。**また、**保護者の皆様にも生徒の良さをお伝えし生徒の可能性を伸ばしていけるよう、学校の様子や生徒の活躍の様子をホームページ等で発信していきます。**

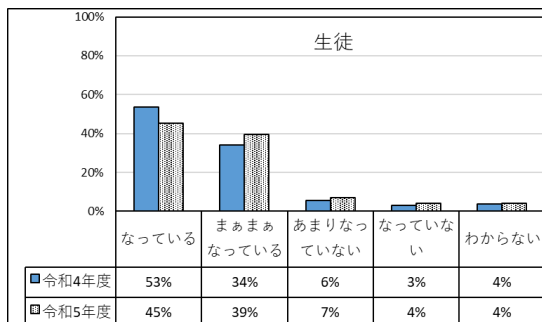
6-1 教科学習は、自分のよさや可能性を伸ばすものになっていますか？



【考察】

「なっている」、「まあまあなっている」の肯定的な回答の割合を見ると昨年とほぼ同等の結果となりました。**友達と教え合う活動や振り返りを通して、生徒自身の学びのよさに気づけるようにしたり、ICT機器を活用するなどして、互いの考えを認め合えるような授業づくりに努めます。**また、総合的な学習の時間では、一人一人が各自の「問い」に対して探究していく時間を設け、成果をアウトプットしたり、**生徒・保護者からフィードバックをしてもらったりしながら学習を深める活動**に取り組んでいきます。

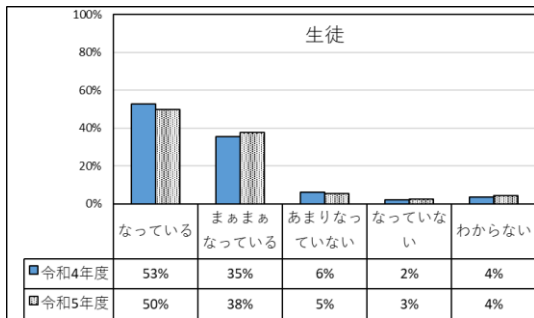
6-2 クラスの活動は、自分のよさや可能性を伸ばすものになっていますか？



【考察】

「なっている」、「まあまあなっている」の肯定的な回答は、昨年に比べてわずかに下がりましたが、高い割合を占めています。生徒の皆さんのアンケートの記述を読むと、浅岳祭に向けて合唱練習や全校レクの練習を通して、クラスの仲間とよりよくかかわる機会となったようです。**活動を通して互いのがんばりや取り組みのよさを振り返る機会になるように応援していきます。**また、**日頃の生活の中で、係活動や友とのかかわり方のよさを互いに認め合える機会を確保していきます。**

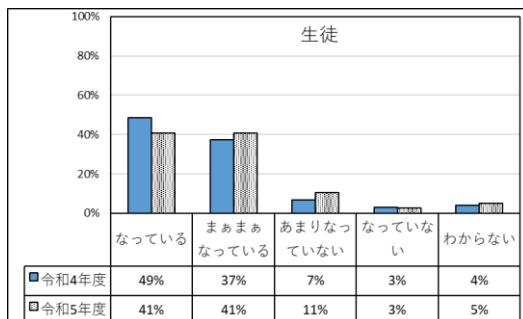
6-3 学年行事や活動は、自分のよさや可能性を伸ばすものになっていますか？



【考察】

「なっている」、「まあまあなっている」の肯定的な回答は、昨年度と同じであり、高い割合を占めています。仲間と協力して活動する楽しさや、あいさつをすることの気持ちよさを感じていることが記述からうかがえます。また、一人一人が自分の役割を理解し、主体的に行事や活動に関わっていけるよう教職員からの働きかけを大切にしていきます。

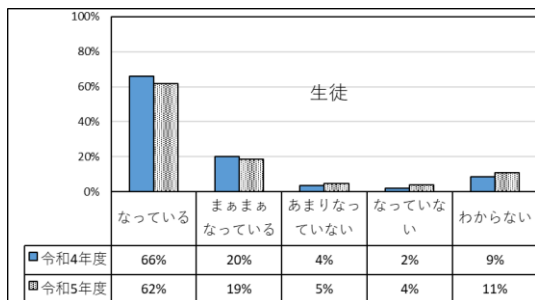
6-4. 生徒会活動は、自分のよさや可能性を伸ばすものになっていますか？



【考察】

「なっている」、「まあまあなっている」の肯定的な回答はわずかに下がりましたが、高い割合を占めています。浅岳祭では、生徒会役員の皆さんのおかげで満足感を得た生徒が多かったことが記述からうかがえます。また、生徒会活動が当番活動だけではなく、「居心地の良い学校」を生徒が主体となって創っていきけるような活動となり、より多くの生徒が大切に思える活動となるよう応援していきます。

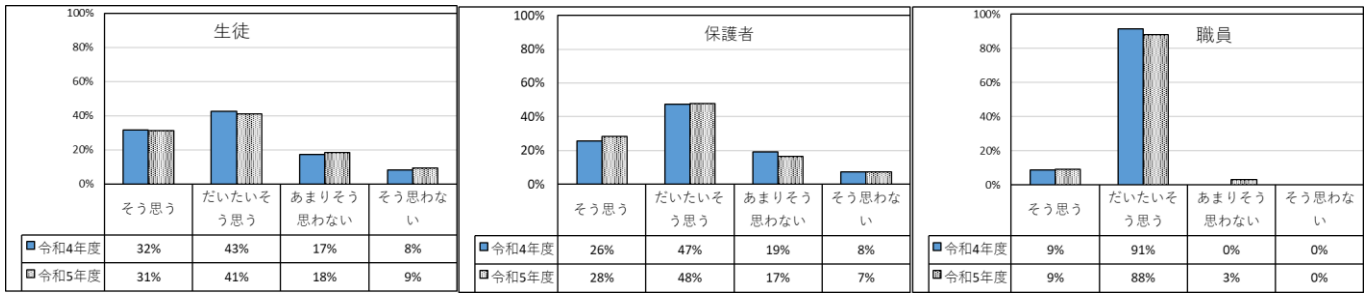
6-5 部活動は、自分のよさや可能性を伸ばすものになっていますか？



【考察】

「なっている」、「まあまあなっている」の肯定的な回答の割合がわずかに下がる結果となりました。多くの生徒は活動に満足していることが伺えますが、記述の中には、「先生から言われるだけの活動ではなく、自分たちが主体となって活動したい」というものがありました。生徒たちの主体性を大切にし、願いや目標に向けて職員がサポートしていきます。また、本校の部活動は「共に高め合う 自分に克つ」を目標に技能面だけでなく、部活動を通して仲間とともに規律や感謝の気持ちなど身につけることを大切にしています。心身共に成長できる部活動を目指します。

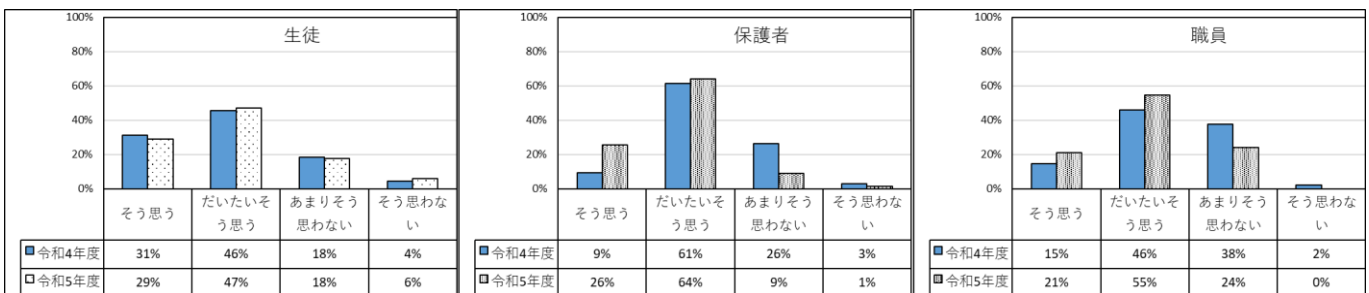
7 学校を楽しみに通っている。



【考察】

「そう思う」、「だいたいそう思う」の肯定的な回答をした生徒の割合は、生徒、保護者、職員で昨年とほぼ同等な結果となっています。肯定的ではない回答をしている生徒を大切に捉え、**より多くの生徒がワクワクしながら追究できるよう、今年度から始めているマイプロジェクト等、生徒が主体の活動をより充実させる取り組み**を検討します。今年度は、休日に日本各地に行って化石を掘る追究をした生徒、浅間中学校のプロモーションビデオを制作した生徒、学区の小学校に行って先生の体験をした生徒等がいましたが、**生徒のワクワクを応援**していきます。

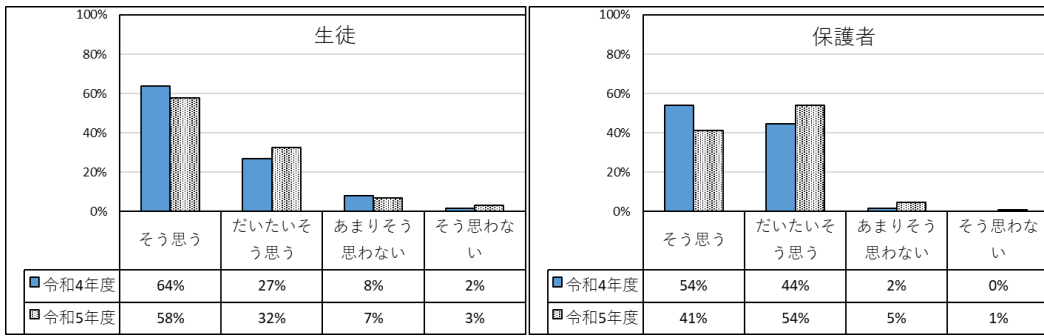
8 地域と連携して教育活動を行っている。



【考察】

「そう思う」、「だいたいそう思う」の肯定的な回答をした生徒の割合は昨年とほぼ同等でしたが、保護者、職員は大きく上がりました。総合的な学習の時間で1年生で一人一人が地域に飛び出し、問いを探してくる活動を今年度行いました。2年生では、昨年まで行っていた地域で働く方を講師として迎え、働くことの意義や素晴らしさを教えていただくプロフェッショナル講座をさらに拡大し、生徒のニーズに合った講座を開設しました。夏休みと冬休み、テスト前にフリーラーニングデーを設け、地域の方や高校生、大学生、保護者のボランティアの方による学習指導も実施しました。**これらの様子をホームページで発信し、多くの方に生徒の頑張りや地域の方々のあたたかな気持ちをお伝えし、今後も地域と連携した教育活動を行っていきます。**

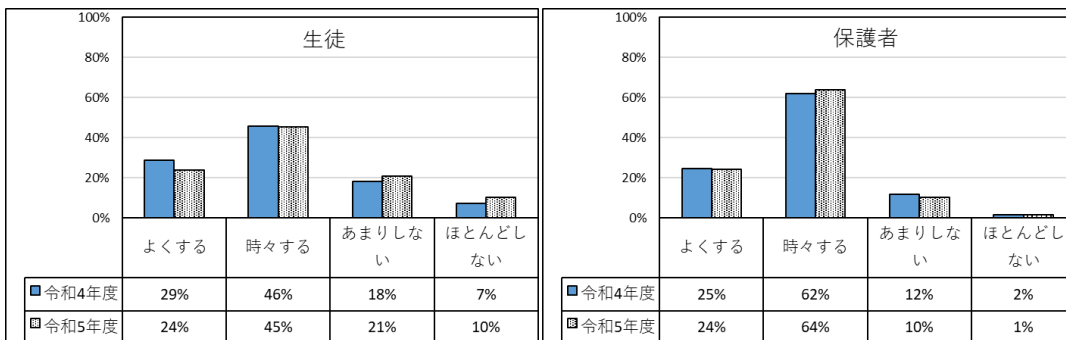
9 家では、家族間のあいさつや会話を大切にしている。



【考察】

「そう思う」、「だいたいそう思う」と肯定的な回答は、昨年同様、とても高い割合でした。生徒の記述には、浅間中学校のよさは友達だけではなく、先生や地域の方にもあいさつをしていることであると書いている人が何人かありました。これは、各ご家庭での対話が十分になされていることのあらわれであると思います。学校でも引き続きあいさつを大切にしていきます。各ご家庭でも引き続きよろしくをお願いします。

10 家では、将来や人生についての話をしている。



【考察】

「よくする」、「時々する」の回答は、保護者・生徒共に、学年が上がるにつれて割合が高くなっています。各ご家庭でも生徒の進路について対話をする機会を設けていただいていることがわかります。**家庭・学校・地域がお子さん一人一人の将来について考えていけるよう連携**して参りたいと考えます。

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。「浅間中学校のよさ」だけではなく、「今後の課題」についても貴重なご意見を多数頂きました。生徒に寄り添ったご意見を頂いたことで、浅間中学校がよりよくなるきっかけをいただきました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

なお、自由記述に関しましては、2月9日付け『学校評価アンケート』自由記述及び『資質・能力の向上や学ぶ意欲をもった生徒を目指して』ご意見についてにてまとめてありますので、ご覧下さい。

今後も、職員一丸となり、浅間中学校の教育活動に取り組んでまいります。よろしくをお願いします。

佐久市立浅間中学校
学校評価係 荻原 広光
TEL 0267-67-2410